



南東北

- ・一般財団法人脳神経疾患研究所
- ・社会福祉法人南東北福祉事業団
- ・医療法人社団三成会
- ・医療法人社団新生会
- ・医療法人財団健貢会
- ・社会医療法人将道会
- ・医療法人 謙昌会

第324号

院是「すべては患者さんのために」

URL: <http://www.minamitohoku.or.jp>
E-mail: pr@mt.strins.or.jp



細菌やウイルスについて説明する前田参与

私たちの環境にはたくさん
の微生物がいて、森や川や町
をきれいにしてくれています。
おいしいパンやお酒、味噌は
酵母菌によって作られます。

講演内容を要約し、細菌や
ウイルスの基礎知識と感染
対策を学びます。

1月医学健康講座

身近な細菌

どんな所にどんな菌が。予防法など

インフルエンザをはじめ、私たちの身の周りには感染する病原菌がたくさんいます。しかし、こうした細菌やウイルスについて詳しく知らない、という人が多いのではないのでしょうか。

▼感染と感染症

細菌やウイルスが体内に入って一定の潜伏期間(増殖)を経て発熱、発赤、疼痛などの症状が出る状態が感染症です。しかし、感染して必ずしも発病するとは限りません。症状がないの

▼常在菌

一番身近な細菌と言えば私たちの体内にいる常在菌です。その多くは人に害を与えないことなく、消化や生理的な働きを助けるなどしています。常在菌の数は口の中に100億個、皮膚に1兆個、胃に1万個、大腸には100兆個、小腸に1兆個、生殖器に1兆個と言われ、それらは縄張りを持っていて違った所に行くとは感染を起さず。

私たちは菌と共存、恩恵も

食中毒防止 基本は加熱・清潔・冷却

に病原体が検出された場合は保菌者となります。

細菌とウイルスの違いは、まず大きさです。細菌をサッカーボールに例えると、ウイルスは米粒くらいの大きさです。また、細菌は自ら細胞分裂して増殖しますが、ウイルスはDNAを持っていただけなので、他の細胞に入り込まないと増殖できません。細菌は抗生物質でやっつけることができますが、ウイルスは薬が効かないので、ワクチンで体内に抗体を作り予防するか、対処法はありません。

発がん物質の分解・排泄②病原菌・有害菌からの感染防御③免疫系の活性化④各臓器の機能の活性化や保全⑤腸内PHの調整と腸の蠕動(ぜんどう)運動の活性化⑥ホルモンやビタミンの産生⑦脂質代謝への関与⑧消化・吸収・代謝への関与などの働きがあります。

大腸菌は食中毒の原因にもなりますが、食中毒を防ぐには加熱、清潔、冷却がポイントです。細菌やウイルスは、ほとんどが60度以上で10分加熱すれば死滅します。感染症

は、外から体内に入った病原体が悪さをするイメージが強いのですが、一般的には体内にもともといた菌が何らかのきっかけで増殖し発病するケースがほとんどです。

▼耐性菌

耐性菌は薬が効かない細菌で、「殺虫剤の効かないハエみたいなもの」と言ったら分かりやすいでしょうか。耐性菌は抗生物質の投与を続けると体内で増殖します。今、世界では牛、豚、鶏などの家畜や魚の養殖に抗菌薬が使用されるため、耐性菌が増えることが考えられ

(2面につづく)

今月号のなかみ

- ▶ 2面=1面のつづき、健康生活情報ナビ、最近よく聞く言葉
- ▶ 3面=こころの健康、がん専門医のコミュニケーション技術研修会、インターネットで初診予約
- ▶ 4面=ゴールドメディアだより、総合南東北福祉センターだより、こども学園でボランティア演奏会、陽子線治療実績、当院の目標
- ▶ 5面=南東北創薬・サイクロロン研究センター竣工・引き渡し、東京リハビリテーションセンター世田谷4月1日開所、当院のGW期間中の診療日
- ▶ 6面=疲労回復にお休み前の簡単ストレッチ
- ▶ 7面=増子輝彦さんのコラム、花粉症対策を、1月の手術件数・救急車、3月の医学健康講座
- ▶ 8面=今月の元気レシピ、薬局だより、編集後記